

私の生きがい

村上市立村上東中学校 3年 鈴木 葉

私の生きがいは村上大祭です。村上大祭とは、1年に一度の村上のお祭りです。毎年7月6日、7日に、19町内がおしゃぎりを引き回し、笛の音や太鼓、鐘などを町に響かせます。おしゃぎりは「しゃぎり屋台」「にわか屋台」「はやし屋台」の3種類があり、屋台ごとに見た目や演奏の仕方が違うので、毎年多くの観光客で賑わいます。

今年は、5日にユネスコ無形文化遺産登録を記念する祝賀イベントとして、記念式典と曳き揃えが行われました。全町内が市役所に集まり、ユネスコの登録をお祝いしました。大勢の人が喜びを感じ、会場は笑顔であふれていました。

宵祭りの6日には、町内や町内の近くの町に行き、おしゃぎりを引き回しました。

本祭りの7日は、久保多町の小町坂駆け上がりから始まります。走って駆け上がることで、ちょうちんが揺れているところと、盛り上がるところが、一番の見所です。

そして、私がきれいだと思うところは、夜に肴町から全町内が自分の町内に帰っていくところです。屋台の音とちょうちんの光で、いつもは暗い街が明るくなっているところがとてもきれいです。

私は今年、楽屋として屋台に初乗りさせてもらいました。笛をして、乗り子と楽屋で合わせる難しさを感じました。

そして、今年も村上大祭は楽しくて、やはり祭りの雰囲気が好きだなと思いました。

私は、村上大祭が大好きです。村上大祭になると、関東地方の大学に通っている姉や、普段会えない町内の人と会えるからです。

私は幼少期からお祭りに参加しています。とても楽しくて、一番の生きがいになっています。

そんな私の生きがいになっている村上大祭は、2025年12月11日にインド・ニューデリーで開催されたユネスコ無形文化遺産保護条約第二十回政府間委員会にて、無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」への登録が決定しました。ユネスコに登録されたことで、村上大祭に関わる大勢の人が喜びを感じました。

その一方で、村上大祭は深刻な問題を抱えています。深刻な問題とは、少子高齢化が進み、年々村上大祭に出る人が減ってきていることです。若い人が都会に行き、帰ってこないことや、子どもが少なくなってきていることから、村上の少子高齢化が進んでいるのだと思います。

この問題を解決するためには、村上大祭に出ていない町内の人に呼びかけ、出てもらったり、都会に行った若い人たちに帰ってきてもらったりする必要があります。私の町内では、町内全体と青年会のグループ LINE や回覧板で、村上大祭への参加の呼びかけを行っています。そして、もっとたくさんの人に村上大祭の楽しさを知ってもらうために、有名な人た

ちに SNS にアップしてもらい、人を増やすという考えもあります。しかし、「観光客には出てもらいたくない。」や、「村上大祭に出るのは、村上の人だけでいい。」という考えをもつ人もいます。いろいろな人の意見があるので、なかなか、この問題は解決につながらないのだと思います。

私にできることは、大人になっても村上大祭に出ることです。私たちが将来引き継いでいかなければなりません。だから、私が村上から離れることになったとしても、7月6日、7日は、絶対に村上に帰って来て、村上大祭に参加したいと思っています。そして、私たちが引き継ぎ、私たちよりも下の世代にも引き継いでもらい、この古き良き伝統を守っていききたいです。

村上大祭がこの先も、ずっと続いてほしいと願っています。そして、村上市がもっと発展していけるように自分も頑張ろうと思います。